

# Enterprise Cluster Master Toolkit

## B.01.08 リリースノート



i n v e n t

**Manufacturing Part Number: B5139-90049**

**2002年6月**

Printed in U.S.A.

---

## Copyright

(c) Copyright 2002 Hewlett-Packard Company

(c) Copyright 2002 日本ヒューレット・パッカー株式会社

Restricted Rights Legend.

Use, duplication or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013 for DOD agencies, and subparagraphs (c) (1) and (c) (2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights clause at FAR 52.227-19 for other agencies.

HEWLETT-PACKARD COMPANY

3000 Hanover Street

Palo Alto, California 94304 U.S.A.

日本ヒューレット・パッカー株式会社

〒 168-0072 東京都杉並区高井戸東 3 丁目 29 番 21 号

TEL 03-3331-6111 (大代表)

---

## ご注意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 本書は内容について細心の注意をもって作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社までお知らせください。
3. お客様の誤った操作に起因する損害については、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 当社では、本書に関して特殊目的に対する適合性、市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。
5. 当社提供外のソフトウェアの使用や信頼性についての責任は負いかねます。
6. 本書の内容の一部または全部を、無断でコピーしたり、他のプログラム言語に翻訳することは法律で禁止されています。
7. 本製品パッケージとして提供した本マニュアル、フレキシブルディスク、CD-ROM またはテープカートリッジ等の媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。



---

## 原典

本書は『*Enterprise Cluster Master Toolkit Version B.01.08 Release Notes*』(HP Part No. B5139-90048) を翻訳したものです。



---

## 納入後の保証について

- 保証の期間は、ご購入時に当社よりお出しした見積書に記載された期間とします。保証サービスは、当社の定める休日を除く月曜日から金曜日までの、午前 8 時 45 分から午後 5 時 30 分の範囲で無料で行います。当社で定めたシステム製品については出張修理を行い、その他の製品については当社にご返却いただいた上での引取り修理となります。当社が定める地域以外における出張修理対象製品の修理は、保証期間中においても技術者派遣費が有料となります。
- ソフトウェア製品の保証は上記にかかわらず、下記に定める範囲とさせていただきます。
  - ソフトウェア製品およびマニュアルは当社が供給した媒体物の破損、資料の落丁およびプログラムインストールが実行できない場合のみ保証いたします。
  - バグおよび前記以外の問題の解決は、別に締結するソフトウェアサポート契約に基づいて実施されます。
- 次のような場合には、保証期間内でも修理が有料となります。
  - 取扱説明書等に記載されている保証対象外部品の故障の場合。
  - 当社が供給していないソフトウェア、ハードウェア、または補用品の使用による故障の場合。
  - お客様の不適當または不十分な保守による故障の場合。
  - 当社が認めていない改造、酷使、誤使用または誤操作による故障の場合。
  - 納入後の移設が不適當であったための故障または損傷の場合。
  - 指定外の電源（電圧、周波数）使用または電源の異常による故障の場合。
  - 当社が定めた設置場所基準に適合しない場所での使用、および設置場所の不適當な保守による故障の場合。
  - 火災、地震、風水害、落雷、騒動、暴動、戦争行為、放射能汚染、およびその他天災地変等の不可抗力的事故による故障の場合。
- 当社で取り扱う製品は、ご需要先の特定目的に関する整合性の保証はいたしかねます。また、そこから生じる直接的、間接的損害に対しても責任を負いかねます。
- 当社で取り扱う製品を組み込みあるいは転売される場合は、最終需要先における直接的、間接的損害に対しては責任を負いかねます。
- 製品の保守、修理用部品の供給期間は、その製品の製造中止後 5 年間でさせていただきます。

本製品の修理については取扱説明書に記載されている最寄の事業所へお問い合わせください。



---

# 1 Enterprise Cluster Master Toolkit

## B.01.08 リリースノート

## はじめに

Enterprise Cluster マスターツールキットには、ServiceGuard パッケージを HP Domain Internet サーバー、または他社製データベースマネジメントシステム用に構成するためのテンプレートやスクリプトが含まれています。これらのツールはハイアベイラビリティを実現するためのツールであり、HP-UX 10.20、11.0、および 11i 上でリリースされています。

下記のバージョンの ECM ツールキットが利用可能になりました。

HP-UX 10.20 用

- 製品 B5139CA (バージョン B.01.08、ソフトウェアとライセンス)

HP-UX 11.x 用

- 製品 B5139DA (バージョン B.01.08、ソフトウェアとライセンス)

このマスターツールキットには、特定の製品を対象とした以下のツールキットが含まれています。

- HA インターネットツールキット
- Oracle、Informix、Sybase、DB2、Progress の各データベース マネージメントシステムに使用するデータベースツールキット

## このバージョンの概要

バージョン B.01.08 では、一部の製品の新しいバージョンがツールキットに統合されています。

本リリースをはじめに、ツールキットとして提供される製品の構成が次のように変更されます。

- HA Foundation Monitor ツールキットが本ツールキットから削除されます。
- Oracle 9i および Informix 9.21 が本リリースで追加されます。

## 互換性に関する情報とインストールのための要件

### 互換性

Enterprise Cluster マスターツールキットは、HP-UX オペレーティングシステムに MC/ServiceGuard (B3935CA または B3935DA) または ServiceGuard OPS Edition (B5161DA または B5161EA。従来の名称は MC/LockManager) のどちらかがインストールされていることを前提としています。

次の表は、データベースおよびインターネットツールキットに関してマスターツールキットがサポートする MC/ServiceGuard および ServiceGuard OPS Edition のバージョンの一覧です。

表 1-1 MC/ServiceGuard および ServiceGuard OPS Edition のデータベースおよびインターネットツールキット互換性

マスターツールキットのバージョン	HP-UX のバージョン	ServiceGuard のバージョン	ServiceGuard OPS Edition のバージョン
B.01.04	HP-UX 10.20	A.10.10 以降	A.10.07.01 以降
B.01.04	HP-UX 11.0	A.11.01 以降	A.11.01 以降
B.01.04	HP-UX 11i	A.11.09 以降	A.11.09 以降
B.01.06	HP-UX 11i/11.0	A.11.09 以降	A.11.09 以降
B.01.07	HP-UX 11i/11.0	A.11.09 以降	A.11.09 以降
B.01.08	HP-UX 11i/11.0	A.11.09 以降	A.11.09 以降

次の表は、マスターツールキットがサポートするデータベースおよびインターネットサーバーソフトウェア製品のバージョンの一覧です。

表 1-2 インターネットサーバーおよびデータベースのスクリプト互換性

インターネットサーバーまたはデータベース	バージョン (swlist の出力に表示)	ツールキットのバージョン (“what” 文字列)
FastTrack サーバー	B.03.01.05	B.01.07
Enterprise サーバー	B.03.06.00	B.01.07

表 1-2 インターネットサーバーおよびデータベースのスクリプト互換性

インターネットサーバーまたはデータベース	バージョン (swlist の出力に表示)	ツールキットのバージョン (“what” 文字列)
Enterprise サーバプロ	B.03.05.04	B.01.07
Proxy サーバー	B.03.05.04	B.01.07
Directory サーバー	B.03.01.03	B.01.07
Messaging サーバー	B.03.05.04	B.01.07
Collabra サーバー	B.03.05.01	B.01.07
Calendar サーバー	B.03.05.02	B.01.07
Informix	9.30 までの全バージョン	B.01.08
	XPS 8.31	B.01.07
DB2	7.1	B.01.07
Oracle	7.3.x、8.0.x、8.1.x	B.01.07
	9i	B.01.08
Oracle Standby Database	B.1.x	B.01.03
Sybase	12.0	B.01.07
Progress	9.1.A	B.01.07

## インストール

Enterprise Cluster Master Toolkit は、Mission Critical Operating Environment をインストールしたときにシステムにインストールされます。個々のツールキットの保存場所は、以下の項に示したとおりです。

ツールキットに付属の readme.pdf ファイルの説明に従ってください。

### インターネットツールキットの保存場所

インターネットツールキットは以下のディレクトリにあります。

表 1-3 インターネットツールキットの保存ディレクトリのパス名

インターネットツールキット	保存ディレクトリのパス名
FastTrack サーバー	/opt/cmcluster/toolkit/fasttrack
Enterprise サーバー	/opt/cmcluster/toolkit/domain
Enterprise サーバープロ	/opt/cmcluster/toolkit/domain
Proxy サーバー	/opt/cmcluster/toolkit/domain
Directory サーバー	/opt/cmcluster/toolkit/domain
Messaging サーバー	/opt/cmcluster/toolkit/domain
Collabra サーバー	/opt/cmcluster/toolkit/domain
Calendar サーバー	/opt/cmcluster/toolkit/domain

各ツールキットに付属の README ファイルの説明に従って、パッケージを構成してください。

### データベースツールキットの保存場所

データベースツールキットは以下のディレクトリにあります。

表 1-4 データベースツールキット保存ディレクトリのパス名

データベースツールキット	保存ディレクトリのパス名
Informix	/opt/cmcluster/toolkit/informix
DB2	/opt/cmcluster/toolkit/db2
Oracle	/opt/cmcluster/toolkit/oracle
Oracle Standby	/opt/cmcluster/toolkit/SGOSB
Sybase	/opt/cmcluster/toolkit/sybase
Progress	/opt/cmcluster/toolkit/progress

各ツールキットに付属の README ファイルの説明に従って、パッケージを構成してください。

## 本バージョンで利用可能なマニュアル

ツールキットを使用してパッケージを構成する方法については、以下のマニュアルをご覧ください。また、使用するツールキットに付属の README ファイルも必ずお読みください。

- 『*MC/ServiceGuard の管理*』
- 『*ServiceGuard OPS Edition による OPS クラスタの設定*』

Domain サーバーをお使いの場合は、上記の製品に関する最新の変更、確認されている問題とその回避策について、『*HP Domain Release Notes on HP-UX 10.20*』(J1582-90112) または 『*HP Domain Release Notes on HP-UX 11.0*』(J1582-90128) をご覧ください。

## このバージョンでの修正点

このバージョンには、パッチや修正はありません。

---

## 既知の問題と回避策

以下の各項では、Enterprise Cluster マスターツールキットについて確認されている問題と、その回避策を説明します。

Domain サーバーをお使いの場合は、『*HP Domain Release Notes on HP-UX 10.20*』(J1582-90112) または 『*HP Domain Release Notes on HP-UX 11.0*』(J1582-90128) も併せてご覧ください。

### Netscape サーバーインスタンスの命名

- **問題**

同じ種類の Netscape サーバーの複数のインスタンスを構成し、あるサーバーのサーバー ID (ServerID) が別のサーバーのサーバー ID (ServerID) の部分文字列になっている場合に、ServiceGuard が別のパッケージを誤って終了させてしまうことがあります。

- **回避策**

以下の例に示すように、他と重複しない独自のインスタンス名を選んでください。

```
ServerID1: httpd-default1
ServerID2: httpd-default2
```

この場合に、ServerID1 に httpd-default、ServerID2 に httpd-default1 のようには指定しないでください。

### Enterprise サーバー (バージョン 3.6) で変更されたインストールディレクトリとポート設定

- **問題**

Netscape Enterprise サーバー (バージョン 3.6) で、インストールディレクトリとポート設定が変更されています。

- **回避策**

runhalt コマンド用のスクリプト enterprise.sh (バージョン B.01.02) の 51 行目で、環境変数 SERVER を以下のように変更して、新しいインストールディレクトリを指定してください。

```
SERVER=/opt/ns-enterprise36/https-${SERVER_ID}
```

Enterprise サーバー バージョン 3.6 の管理用サーバーにアクセスする場合は、ポート 17493 を使用してください。たとえばブラウザでは、以下の URL を使用します。

```
http://192.1.1.3:17493
```

## 既知の問題と回避策

上記の URL で、192.1.1.3 は、管理用サーバーを実行しているシステムの IP アドレスです。

### uxwdog 監視プロセスが実行できない

- 問題

Enterprise サーバー バージョン 3.6 では、ウェブサーバーデーモン `https-<InstanceName>` が正しく実行されているかどうかを UNIX の `uxwdog` デーモンが監視しています (`InstanceName` はサーバーインスタンスの名前、デフォルトデーモンの名前は `https-default`)。

ウェブサーバープロセスが終了すると、`uxwdog` デーモンはウェブサーバーデーモンを自動的に再起動します。問題は、ウェブサーバーがまだ実行されているときに `uxwdog` デーモンが終了すると、管理用サーバーを使用してウェブサーバーの停止や起動ができなくなることです (この問題は、`kill -9 <PID>` コマンドを使用した場合にも発生します。ここで、`<PID>` は `uxwdog` デーモンのプロセス ID)。さらに `uxwdog` デーモンを監視しているツールキットがパッケージを引き継ぎノードへフェイルオーバーさせますが、引き継ぎノード上でパッケージが正しく実行されません。

- 回避策

`uxwdog` デーモンが実行されない場合は、次のコマンドにより、ウェブサーバープロセスを手動で抹消してください。

```
kill -9 <PID>
```

上記のコマンドで、`<PID>` はウェブサーバープロセスのプロセス ID です。これにより、管理用サーバーの制御を通じてウェブサーバーを起動できます。

## 各言語でのソフトウェア使用の可否

Enterprise Cluster マスターツールキットは日本語をサポートしていません。ただし、製品 B5139 の次のオプションで、各国語のドキュメントが付属しています。

- ABA: 英語
- ABJ: 日本語

